

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
運動器系理学療法評価学演習			必修	1	2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
粕山 達也 他		D311	kasuyama		月曜日 12:00～13:00	
授業の目的・概要		骨関節障害を引き起こす主な疾患の病院、病態生理、症候、診断について学ぶ。運動器疾患に対する理学療法士としての思考過程を理解し、各病態に対応した評価に関する検査・測定の技術を身につけ、理学療法計画の立案ができるようになることを目的とする。				
授業形式・方法		☒対面授業 ☐遠隔授業(双方向型) ☐遠隔授業(自主学習) ☐講義 ☐実習 ☒演習 ☒実技 ☒PBL ☐グループワーク ☐その他（ ☐反転授業 ☐プレゼンテーション ☐ディスカッション・ディベート ☐実習・フィールドワーク)				
学習上の助言		運動器疾患の基本的な知識を整理し、部位・疾患別に講義を行う。基礎科目の知識を応用し、理学療法の実際に転換する思考を学習する。				
教科書		Crosslink 理学療法学テキスト 運動器障害理学療法学 第1版/編集：加藤浩／メジカルビュー社				
参考書		特に指定なし				
外部教材		特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	運動器疾患の病態について理解する。				PT(1)、(5)	
②	各運動器疾患に対する理学療法評価を立案することができる。				PT(1)、(5)、(6)	
③	運動器疾患に必要な検査・測定を行うことができる。				PT(1)、(5)、(6)	
④	評価結果の解釈をし、理学療法計画を立案することができる。				PT(1)、(5)、(6)	
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	運動器系理学療法総論について学習する。	[担当] 粕山	講義	運動器疾患の概論の課題について実施する	1	
2	変形性股関節症について学習する。	[担当] 粕山	講義・実技	変形性股関節症の課題について実施する	1	
3	変形性膝関節症について学習する。	[担当] 粕山	講義・実技	変形性膝関節症の課題について実施する	1	
4	脱臼、靱帯損傷（肩関節脱臼、前十字靱帯損傷等）について学習する。	[担当] 粕山	講義・実技	肩関節脱臼、前十字靱帯損傷の課題について実施する	1	
5	靱帯損傷（足関節靱帯損傷。半月板損傷について学習する。	[担当] 粕山	講義・実技	靱帯損傷、半月板損傷の課題について実施する	1	
6	肩関節周囲炎、腱板損傷について学習する。	[担当] 粕山	講義・実技	肩関節周囲炎、腱板損傷の課題について実施する	1	
7	慢性関節リウマチについて学習する。	[担当] 粕山	講義・実技	慢性関節リウマチの課題について実施する	1	
8	運動器不安定症について学習する。	[担当] 坂本	講義・実技	運動器不安定症の概要についてまとめる	1	
9	骨折、足部障害について学習する。	[担当] 坂本	講義・実技	骨折の概要についてまとめる	1	
10	骨折（大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折等）について学習する。	[担当] 関口	講義・実技	骨折の概要についてまとめる	1	
11	脊髄損傷（頸髄）について学習する。	[担当] 関口	講義・実技	脊髄損傷の概要についてまとめる	1	
12	脊髄損傷（腰髄）について学習する。	[担当] 関口	講義・実技	脊髄損傷の概要についてまとめる	1	
13	脊椎疾患、腰痛症について学習する。	[担当] 関口	講義・実技	脊椎疾患の概要についてまとめる	1	
14	骨壊死疾患、骨形成不全（側弯症）について学習する。	[担当] 関口	講義・実技	骨壊死疾患、骨形成不全（側弯症）の概要についてまとめる	1	
15	運動器疾患に関する考察の仕方について学習する。	[担当] 粕山	講義・実技	運動器疾患についてまとめる。	1	

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

試	定期試験			
---	------	--	--	--

		達成度評価					
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	40	0	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント			フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点		
試験	①	✓	各疾患の病態に対する理解、理学療法評価・理学療法計画ができるかを確認するために筆記試験（国家試験形式）を行う。	終了後、確認に来た学生には、 答案の解説を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考	
他 担 当 教 員	関口 賢人、坂本 祐太
教員の実務経験	理学療法士（臨床経験 17 年） 整形外科クリニック 6 年 訪問リハビリテーション 11 年 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（臨床経験 17 年、資格取得後 7 年）
実践的授業の内容	臨床現場に多い運動器系疾患に関する講義を行い、症例を提示した実践的な学習課題を提供する。 疾患特異的な評価方法の実際や治療手技の内容を指導する。
そ の 他	課題のフィードバックは、課題の解説にて返却する。意見交換については、原則として授業時間内にメールや Teams でも随時対応を行う。 今後の感染症の状況など、社会情勢に応じて再度シラバスの変更が生じる可能性がある。